ぼくは この話を読んで、
もっかい人に気もちを伝えること
とが、大切だと思った。なぜなら気もち
は、言いにくくても言うからこそ価値
が、あるものだからだ。

ぼくは、だれかに人にあやまる時に、
言わけをする。性格が悪くないという
ことを知ってもらいたいから、いい わけを
してしまうのだと思った。なので、
人にようきをなすりつけるるし いい
わけをしている。ぼくは、よく母に、
「いいわけをしていいわけ」と言われる

気もちを伝えることができなかった
ことについて、聞いてみた
母は昔、家を売る仕事をしていて、
一度だけよゆうが出すぎ、とクレームが
きたそうだ。そのクレームはよゆうのはい答え
しゅうのはい答えをまちがえていたそうだ。
自分たちがそれもあやまったそうだ。

ぼくは、あやまるのがにが手だ。
けれど、いい わけは、うまい
お母さんはお客さんがたくさんいるあまり
てったそうだ
お母さんはあやまるのが上手だと思った
ことは、相手の想像以上にあやまる
ことだそうだ